

湖水地方 ネイチャー・ツアー

このツアーの見どころ

- ウィンダミア湖
- ラングデイル山の見事な眺め
- コルウィス・フォースー湖水地方の有名な滝
- 古代ローマの道
- ブリー・ターンー美しい山の中の湖
- とっておきの見晴らしのよい場所までのミニ・ハイキング
- 静かで新鮮な空気に満ちた真の湖水地方の雰囲気を経験



1. Lake Windermere ウィンダミア湖

ウィンダミア湖は湖水地方で最も有名な湖で、長さ18キロ、水深は65メートルあります。湖水地方の湖は、ウィンダミアやグラスミア、サルミアのように「ミア」と呼ばれるもの、リトル・ラングデイル・ターン、ブリー・ターンのように「ターン」と呼ばれるもの、またコニストン・ウォーター、ダーウェント・ウォーター、ライダル・ウォーターのように「ウォーター」と呼ばれるものがあります。近年、ウィンダミア湖でモンスターが目撃されたようですが、街の名前ボウネスにちなんで「ボウネッシー」というニックネームが付けられました。スコットランドの有名な「ネッシー」と遠い親戚にあたるかもしれませんね。



2. The River Brathay ブレイスイ川

「ブレイスイ」はバイキングの言葉で「広大な川」という意味で、リトル・ラングデイル・ターン（湖）を囲む高い山々から始まっています。ツアーでご覧になるいくつかの滝はこの川から発しています。ブレイスイ川は冬には湖水地方に莫大な量の水をもたらし、近年はカヤックで非常に人気があります。川に沿って進んでいくと、左側の牧草地に時々鹿が見えることがありますので注意して見ていてください。



3. Spy Hill スパイ・ヒル

ここは湖水地方の高い山の中で最も眺めよい場所のひとつです。前方に見えるのはラングデイル・パイク（パイクは岩山の意）で、ここは100万年前火山であったと言われています。今日ではハイキングをする人たちにとても人気があります。これからこの山の麓に向かって進んでいきますが、もし雨が降れば、山を二つに切り裂くかのように見えるスティックル・ギルの見事な滝を見ることができるともかもしれません。



4. Colwith Force コルウィス・フォース

コルウィス・フォースまで、檜の森林を通り川の上手の小道を10分ほどミニ・ハイキングをします。この周辺の空気は、地面が分厚い苔に覆われているため、いつもひんやりと湿っています。手で苔を触ってどんなに柔らかいか確かめてみてください。コルウィスの滝はブレイスィ川にあり、滝はスケルウィスの滝に流れ着くまでに約12メートル落下し、最終的にウィンダミアに到達します。



5. Little Langdale リトル・ラングデイル

「リトル・ラングデイル」とは走行中左手に見える谷と小さな湖の両方に付けられた名前です。谷間に分散している農家は300年以上に建てられたもので、その多くがナショナル・トラストの所有となっています。今日、この谷は非常に静かで穏やかに見えますが、200年前はレイクランド・ポニーに羊毛やスレート石、違法なアルコールなど様々な荷を積んで運ぶのに使われた、混雑した交差路でした。荷を積んだポニーが川を渡るために、石でできた特別な橋「荷馬橋」が架けられました。このような橋は湖水地方のあちこちで見ることができます。この周辺で見られる家や石の壁はすべて地元のスレート石でできています。



この壁はドライ・ストーン・ウォールと呼ばれています。これらのほとんどは300年前に牧草地を区切るために造られました。また、冬の厳しい寒さから羊を保護する役目も果たしました。積み上げた石を保持するのにセメントは使われていません。これらすべての壁を造るのにいかに多くの人が、いかに多くの時間を費やしたかが想像できるのではないのでしょうか。。今日、1人1日で造ることができる壁は3メートルから5メートルと言われています。



正面に見えるのは有名な山道「ライノーズ・パス」です。この道は、イングランドで最も傾斜が急な道のひとつで、もともとはローマ人がアンブルサイドの街とイングランド西海岸とをつなぐために造ったものです。丘の斜面には、ここの風景の特徴である灰色のハードウィック種の羊が見えます。

ハードウィック種の羊は年間を通して戸外で過ごし、山がちな環境に適応してきました。この羊は分厚い羊毛に覆われ、冬の間も雪をかき分けてその下にある草を取るのに都合の良い大きな足をしています。羊毛はあまり良質ではありませんが、カーペットなどの用途に使われています。一方、ラム肉はととも味がよく、湖水地方の特産品となっています。ハードウィック種の羊は毛の色でおおよその年齢が分かります。



子羊の毛は黒、若い羊の毛は茶色、大人の羊の毛は灰色をしています。

人間の毛髪のようにハードウィック種の羊も、年を経るにつれ毛の色が変わります。

1930年代に湖水地方では農業がとても不振だったため、農家の人たちは収入を補う必要がありました。ビアトリクス・ポター（ピーターラビットの作者で、彼女自身がとても熱心な農場主でした）は農家に観光客を受け入れることを勧めるとともに、彼女自身もフェル・フット・ファームに客をもてなすための家具や調度品を調べました。フェル・フット・ファームは谷の一番奥にある白い建物です。



6. Blea Tarn ブリー・ターン

この小さな湖は湖水地方の中心部標高 250 メートルのところにあり、湖からラングデイル山にかけては見事な景色が広がっています。この湖にはスズキやブラウン・トラウト（マスの種類）、カワカマス等が生息しています。整備された歩きやすいハイキングコースは、ヒースやシャクナゲの茂みを通って湖を周り、遠くに見える道路に合流します。春には小道に沿って高山植物の花々がたくさん咲きます。ここでは 20 分ほど歩きますが、天候やお客様の気分によって歩くかどうかを選択していただくことができます。湖の周りをドライブする方がよろしければ、運転手と一緒に車内にお残りください。



7. Great Langdale グレート・ラングデイル

ここは、ふたつのラングデイル・バレー（谷）のうち大きい方で、氷河の力で削られてできた渓谷のよい見本です。滝の水は山肌を流れ落ち、岩の崖は格好のロッククライミングの場となっています。グレート・ラングデイルバレーは湖水地方で最古の人類の居住地であり、ここで発見された石斧は約5,000年前のものと言われていています。石斧の製造工場が見えますか？また、この谷は1800年代には、密輸業者が酒税のかからないマン島からアルコールを違法に持ち込むのに利用されていました。今日では様々なアウトドア活動において人気の場所となっています。



8. Copt How コプト・ハウ

ここには、驚くことに新石器時代の岩絵があります。5,000年前（日本では縄文時代に当たる）に人間がこの地に居住していたという証拠です。敷地にはいった岩絵を見てみましょう。円や環や三角などの形が見えますが、これらが何かを表しているのか、または石器時代のただの落書きなのか、誰にも分かりません。

そしてここからは、グレート・ラングデイル・バレーの素晴らしい眺めを望むことができます。

9. Elterwater エルターウォーター

エルターウォーターはこの村と周辺の小さな16の湖を含む地域に付けられた名前です。



この村は1930年までスレート採掘や火薬製造で繁盛した活気がありました。工場の水力はラングデイル山の高い所から供給し、火花や爆発を防ぐためにポニーたちが足に銅の蹄鉄をつけて火薬を鉱山に運んでいました。それでも致命的な爆発事故も数多くおこり、とても危険な産業でした。



10. Grasmere グラスミア

グラスミアは、湖と村の両方に付けられた名前です。レッド・バンクと呼ばれる急な坂道を下っていくと、右側にグラスミアの湖が見えてきます。グラスミアの村は、サラ・ネルソンのジンジャーブレッド・ショップのほか、湖水地方の詩人ウィリアム・ワーズワースゆかりの地としても有名です。ワーズワースはグラスミアを「地上で最も素晴らしい場所」と描写しました。ジンジャーブレッド・ショップはかつて村の学校でした。その横にあるのがセント・オズワルド教会です。この教会の建物は13世紀のもので、庭にはウ

ウィリアム・ワーズワースの墓があります。ワーズワースは、田園地帯を散策中に罹った風邪が原因で1850年4月23日に享年80歳で亡くなりました。



11. Windermere lake cruise ウィンダミア湖クルーズ

ウィンダミア湖はかつて、ラングデイルの鉱山からのスレートやエルターウォーターからの火薬、アンブルサイドからの羊毛などを運ぶための輸送路として重要であったため、公共道路という分類になっています。ここで商品が蒸気機関車に積み込まれ、輸出用に海岸まで輸送されていました。今日、かつての蒸気機関鉄道は、人気の観光アトラクションとなっています。



1845年に最初の蒸気船がウィンダミア湖で発進しました。湖水地方の詩人ウィリアム・ワーズワースは、これによりあまりにも多くの観光客が押し寄せ、美しい景色が破壊されるのではないかと懸念し、蒸気船の導入に激しく反対しました。1956年には、エリザベス女王2世が「ティール」と呼ばれる蒸気船でアンブルサイドからボウネスまで、皆様と同じようにクルーズを楽しまれました。今日では、ウィンダミア湖クルーズは北イングランド地方で最も人気のある観光アトラクションの一つで、年間約150万人もの観光客に利用されています。

アンブルサイドの棧橋を離れると、すぐに右手にレイ・キャッスルが見えます。これは、ビアトリクス・ポターが16歳で初めて湖水地方を訪れた時に滞

在した場所です。今日、レイ・キャッスルはナショナル・トラストが所有しており、ホテルに改装する計画があるようです。



湖では時速 16 キロの速度制限があるため、ジェットスキーやスピードボートを見かけることはありませんが、もしかしたらボウネッシーが見えるかもしれませんので注意して見てみてください。もし見かけられた場合は、忘れずに写真を撮ってレイクディストリクト・ツアーズ社 sales@lakedistricttours.com にEメールでお送りください!



TO BOOK THIS TOUR
TEL: 00 44 (0) 15395 52106
EMAIL: sales@lakedistricttours.com
WEB: www.lakedistricttours.com